

地域医療の最前線を学びたい君へ!

早期医療体験 2020 プログラム

医学部を目指す高校生のための特別企画。
自治医科大学を卒業した医師が活躍する
離島などで学びます。地域医療のやりがいを
知りたい! 未来の日本を創りたい!
そんな熱意のある高校生を募集します。



白石 吉彦 Shiraiishi Yoshihiko

ここ隠岐島前病院には、総合診療をやりたいという若者が全国から集まり、腕を磨いています。地域医療の問題は何か。担い手となるには何が必要か、その魅力とは。ぜひ現場で考えてください。
隠岐広域連合立隠岐島前病院院長、離島総合診療医。1992年、自治医科大学卒。エコーを駆使して、人口約6,000人の島前地区の医療を支えている。

応募方法 「高校生小論文・スピーチ動画コンテスト」に応募!

まず、自治医科大学の「高校生小論文・スピーチ動画コンテスト」にご応募ください。コンテスト入賞者20人を、9月19日(土)午後に行われる「オンライン地域医療体験プレキャンプ」に招待し、医療現場に派遣する生徒数名を選考します。

課題：2030年の地域医療 何を守り、何を創るか
締め切り：7月19日(日)

日本はいま、世界に例のない少子高齢化と人口減少に直面しています。2040年には市区町村の半数が消滅するという推計もあるなか、地域医療は地方存続の“生命線”です。その現場は現在、新型コロナウイルスという新たな試練に立ち向かっています。危機に直面している今だからこそ、「何を守り、何を創るのか」を多様な視点から考えてください。

※新型コロナウイルス流行の状況により、プログラム内容を変更、中止とする場合があります。

派遣先 2021年3月、隠岐島前病院などを予定

2021年3月の春休み中に、隠岐島前病院(島根県)などに若干名を派遣する予定です。

詳しくはウェブサイトでご確認ください

コンテストとプレキャンプに関する問い合わせ

自治医科大学 学事課
「小論文・スピーチ動画コンテスト」係
☎0285-58-7045 ✉jichinyu@jichi.ac.jp

早期医療体験プログラムに関する問い合わせ

読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局
☎03-6739-6985(平日10:00~17:00)
✉ednet@yomiuri.com

